


いのち **「命をいただく」** さんか  
 ~私たちが考えること、感じたこと~  
 小学前5年1組 星 紅羽・望月 誓勇

私たちは夏休みに、PTA研修に参加しました。  
 研修が行われたのは、土曜朝にある畜産場です。



今日は研修で感じたことや、畜産場の方に聞いて知ったことを発表します。




 みなさんは、この動物がわかりますか？  
 この牛は「箱牛」と呼ばれる、「食肉」になるために育てられている牛です。でも、この牛には名前があります。

れん **蓮秋**


 蓮秋くんは、なぜ名前がついているのでしょうか？  
 みなさんはわかりますか？  
 それは、蓮秋くんは他の牛と違うからです…

この畜産場にはたくさんの牛がいます。そのほとんどがお肉になります。




蓮秋くんは、それらの牛とは違う場所で育てられていました。


蓮秋くんを初めて見た時の印象は？

紅羽 ねえねえゆきはちゃん、私は、初めて牛をさわったから、少しびっくりしたけれど、ふわふわであたたかくてかわいかったの、こわさがなくなりました。

望月 いるはちゃん、わたしはね、最初は、緊張したけれど、蓮秋くんを見たり、触ったり、すると、牛って大きいのに、驚いたりしない優しい動物なんだと思っちゃったよ。

れん **蓮秋くんは他の牛と何が違うの？**




 蓮秋くんは肩にケガをして手術をしました。手術の傷がある牛は、お肉になる牛としては売れなくなってしまうのです。畜産場の方は、蓮秋くんをみんなと命について考える牛として育てることにしました。


ふれあって感じたこと


 蓮秋くんは、おとなしくて入らなってくれる牛です。たくさんの人とふれあって人が好きになったのかもかもしれません。ゆっくり動いて、ゆっくりエサを食べていました。


 ブラッシングをすると体を動かすのをやめてじっとします。ブラッシングが好きなんだと聞きました。さわると温かくてかわいいなと思いました。

この畜産場では、たくさんの子牛が生まれます。

子牛のミルク作りは、とても簡単でした。



ミルクをあげる時は、子牛の吸う力が強くて、引っ張られそうになって揺りました。



れん **蓮秋くんの一生涯について**


 蓮秋くんは、私たちに、命の大切さを教える役割をしてくれました。でも…



蓮秋くんも、養牛の2月にお肉になります。畜産場の方は売る時がきたらみんなにおいしく食べてほしいと言っていました。

その際、怖いかもしれないと思います。そう、産れ着てる時に産しました。

わたし **私たちはどうするか？**


 蓮秋くんは、「いつも食べているお肉は、もともとは、みんな生きている牛だからお肉を食べるときは、命をもらって食べている」ということを教えてくれたね。


 「入には苦手なこともあるけど、それを自分だけの力に変えることもできる。」と話してくれたね。

畜産場の方は、「蓮秋くんは売れ残りの牛だけど、みんなに命の大切さを教えてくれる牛になった。」と言っていたよ。

苦手なことや入よりできないことがあっても、それを生かして生きていける。

蓮秋くんは、入はそれぞれ生きていく意味があると教えてくれました。

そして、蓮秋くんに出会い、こんなにかわいい牛の命も、私たちの責任になり、私たちの命になることを知りました。これからは、その命に「ありがとう」と、感謝をして、残さず、いただくと思っています。

これで、「命をいただく」の発表を終わります。